

★当地では、ここ一年
くらいでトラフグが急
増しているそう



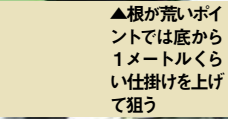
▲小さなアタリを見逃さないことが肝心
◀難しいから熱くなる
▼当日はチラシ仕掛けを使う人が多かった



▲ショウサイフグの平均サイズは20～25センチ前後



▲ここに掛かれれば合わせのタイミングはバッチリ



▲根が荒いポイントでは底から1メートルくらい仕掛けを上げて狙う



▲この日はショウサイを10尾前後の人が多かった
◀良型のカワハギも交じる



▲もちろん釣ったフグは船宿で安全にさばいてくれる。ショウサイフグとトラフグ2種の食べ比べを楽しんでみては？



◀エサはアルゼンチンアカエビ、同宿は追加エサも無料



◀仕掛けは湾フグ用でOK

相模湾腰越港出船

フグ釣りの穴場、相模湾、ショウサイ+トラフグ上昇

撮影◎平林 潔

関東のフグ釣りで穴場の存在のエリアが相模湾。当地のフグ専門船のパイオニアである池田丸では、腰越々茅ヶ崎沖の水深15〜20メートル付近を狙い、ショウサイフグを主体にトップで20〜30尾。そのうえ目下は高確率でトラフグが交じっており、いい日は26〜35センチ級のトラフグを一人で10尾前後釣ることがあるという。

道具立てはオモリ10号のカットウ仕掛けの上に2本バリの食わせ仕掛けを付けるスタイルが主流で、いわゆる湾フグ用のタックルで楽しめる。

当地は水温が上がるにつれて釣り場にフグが集まってくる傾向があるというから3月も大いに期待できそうだ。
(詳細は54ページ参照)



▲港至近の砂泥地がトラフグの好ポイント



◎相模湾腰越港・池田丸
橋本 浩平船長